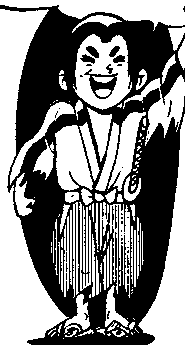


アアア!

主な登場人物のしよかいをさせていただきます!

剣々豪之助



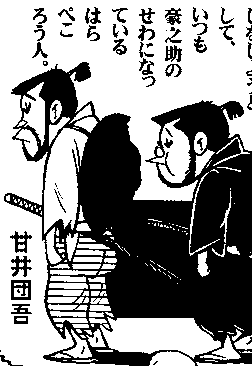
アルバイトをしなから武者修業をしているが、なみたもつく人がよくて、いつもただ働きて、おなかをすかしているが、正義のためにはこわいものなし、相手に応じて強くなるという少年剣士。

正宗お祖父の孫がうたごう名の、

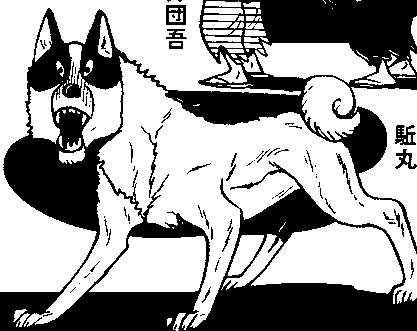


アルバイトの かん板  
まじり新左門が 作りをこぼしたじや  
あまの三回 洗たくのために なるハカマ  
ひろたを 馬のつらじ をおせろ したま

豪之助に恩返ししようとして、いつも豪之助のせわにまわっている

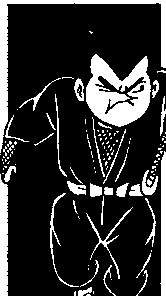


大福助



駝丸

豪之助とは性格がまるっきり反対で、人をこまらせるのが生きがいという悪玉にんき

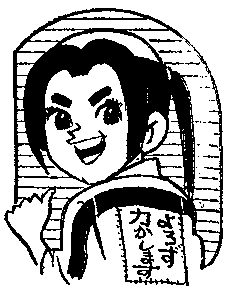


石川十工門

その家来の海千。山千。



豪之助のしよかい



せつしゃのとくいわざをお見せしよう。

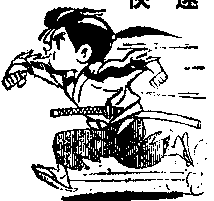


大力

力のめかたは、はらへあいでちがう。まんぷくのせつしゃをおていすやまてむいよ。



快速



てうばうのタマゴのも速いなんで、うそほつかなわが、ウマよりはせつたに速い。

大食



ダンゴ五十本は、かみい。満腹のときは、どのわきもさえるが、そのぎやくに、はらかふる、とたんに月がでなくなる。

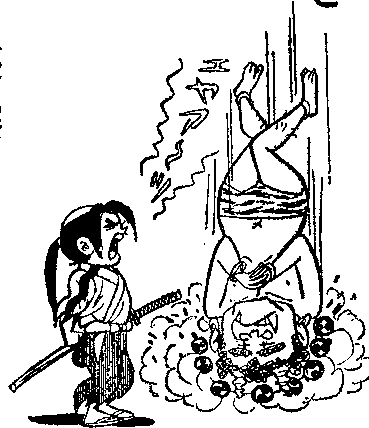


しよかい

せつしゃのしよかいのしよかい、田んぼでまらむかやまてむいよ、この「たまご」はなむかやまて、切ったことがわかる。

死闘の節

この死闘の節、まかなが、すいてはかい力がある。そのかわりエネルギーもつかう。



初出  
すてきなサムライ[完全版]

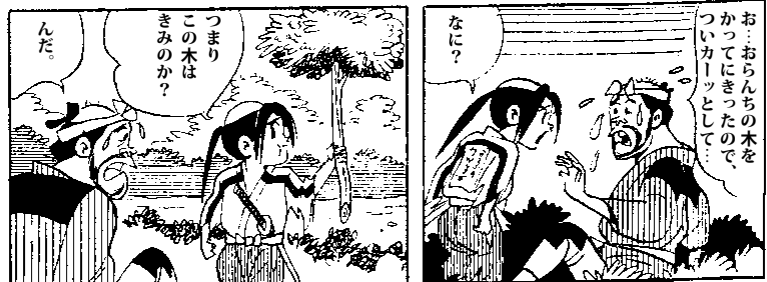
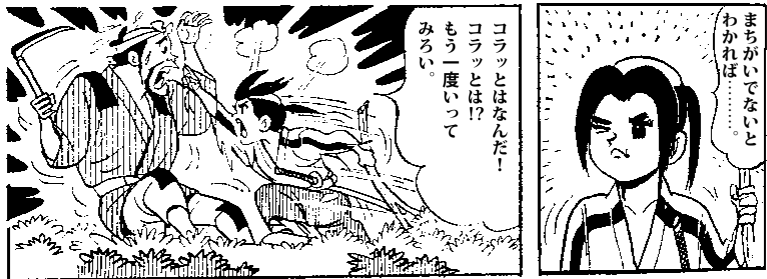
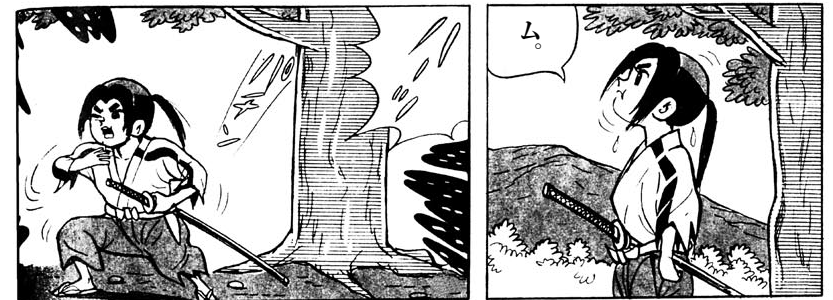
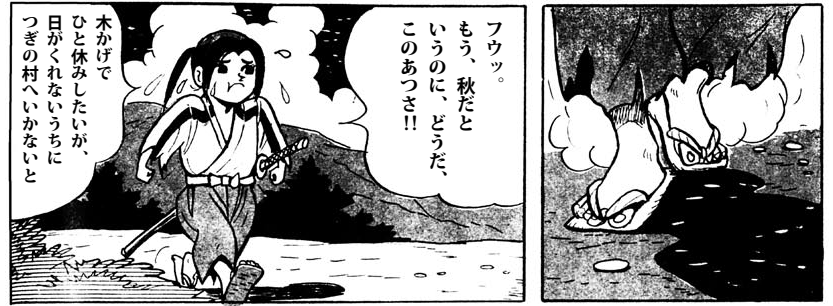
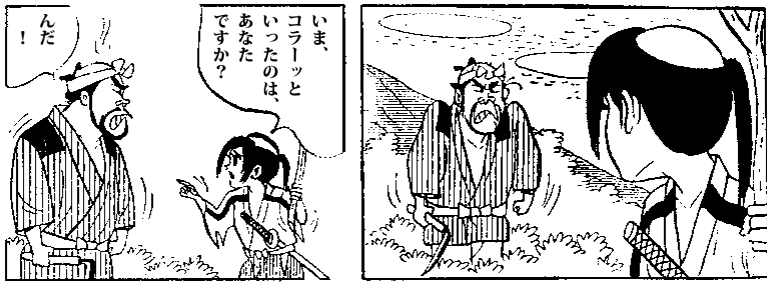
「小学四年生」小学館  
1964年10～65年3月号

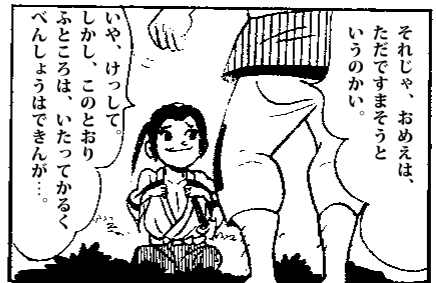
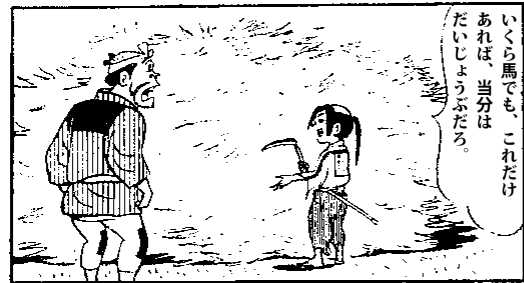
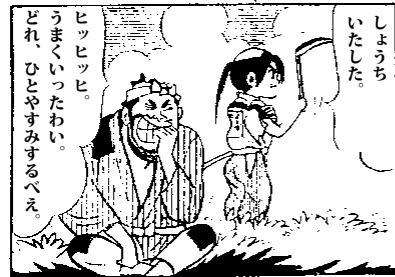
「小学五年生」小学館  
1965年4～66年3月号

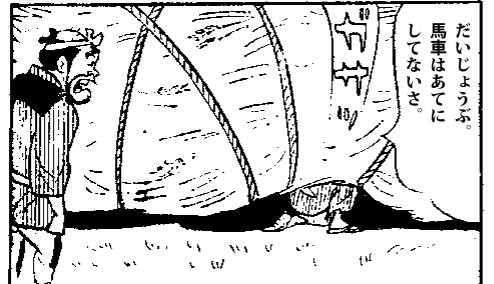
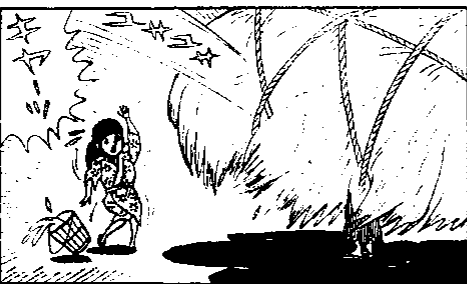
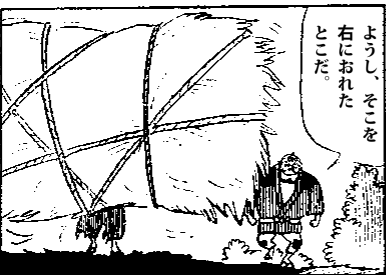
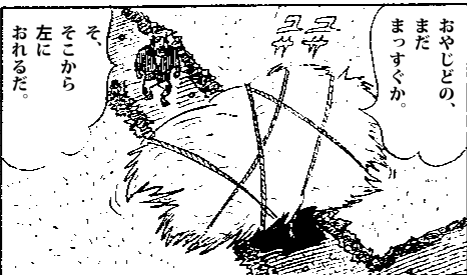
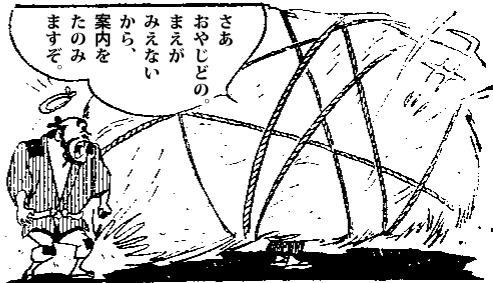
詠みきり1  
「週刊少年ジャンプ」集英社  
1968年2号

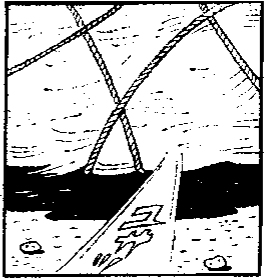
詠みきり2  
「別冊少年サンデー」小学館  
1962年夏休み号

詠みきり3  
「別冊少年サンデー」小学館  
1963年春季号

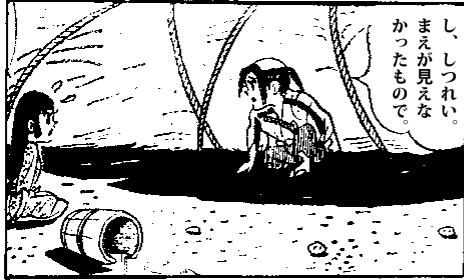








し、しつれい  
まえが見えな  
かったもので



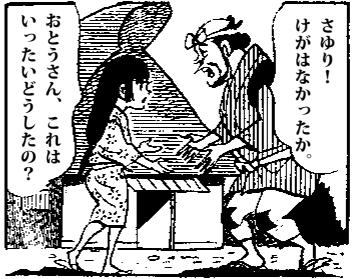
そんなわいことをする人には  
みえないけど



フフフ…へっ  
わるいことはしちやいない  
ただ、あついで、立ち木の  
枝をちよんぎって、日かぎの  
かわりにしただけさ



つまり、その木は  
ワシのたん生記念に  
うえた、たいせつな木だと  
いってやったのさ



さゆり！  
けがはなかったか。  
おとうさん、これは  
いったいどうしたの？



おじょうさんでしたか。  
つまり、私がおとうさんの  
そ、そ、そ、そ、そ、そ、そ、そ、  
つぎ、つぎ、つぎ、つぎ、つぎ、  
したのだから、そのバツとして



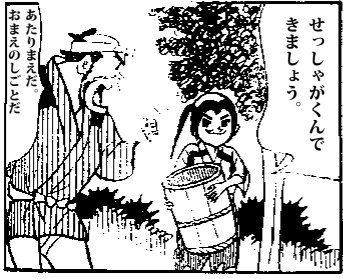
と、ここがあのお人よしの  
サムイめ、すっかり  
わるいと思つて、あのとお  
りさ、ハハハ  
ママッ  
なんてこと  
を！  
そんな  
でたらめ  
いつて…



いいじゃないか。  
おれたちが助かる  
だけさ。  
いけないわ。  
あんないい人を  
だますなんて…  
わたし、わけをはなすわ。



ママ、いったい  
どんなことをした  
つていうの？  
そ、そんなことは  
どうでもええ  
それより、せつかくの水を  
こぼしちゃったじゃないか



せつしゃがくんで  
きましよう。  
あたりまへな  
おまえのことだ



ハ、バカッ、  
あのすごい力を見たたら、  
もし、うそだつてわかっ  
て、オラの首がねじ  
きられてしまうだぞ  
おとう  
さん…



ハハ…わかったな。  
おまえさえたまって  
りやいんだ。  
ハハハハ



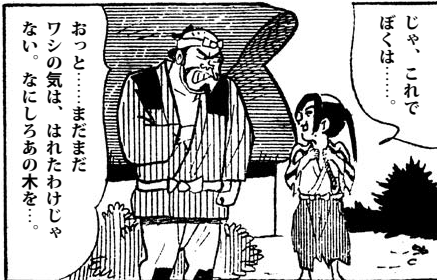
おとうさん、オサムライさんに  
そんなこといつて…  
どんなひどいことをしたのか  
しらないけど、あんなおもい  
ものもたせて



あのすごい力をみたら、  
あのサムライを使えば、  
このいそがしいときに  
大助かりするだぞ  
おれはもうでしようば



さあ、水を  
くんできましたよ。  
ようし、  
その水ガメに  
いれておけ。



おっと…まだまだ  
ワシの気は、はれたわけじや  
ない。なにしろあの木を。  
ぼくは…これで

